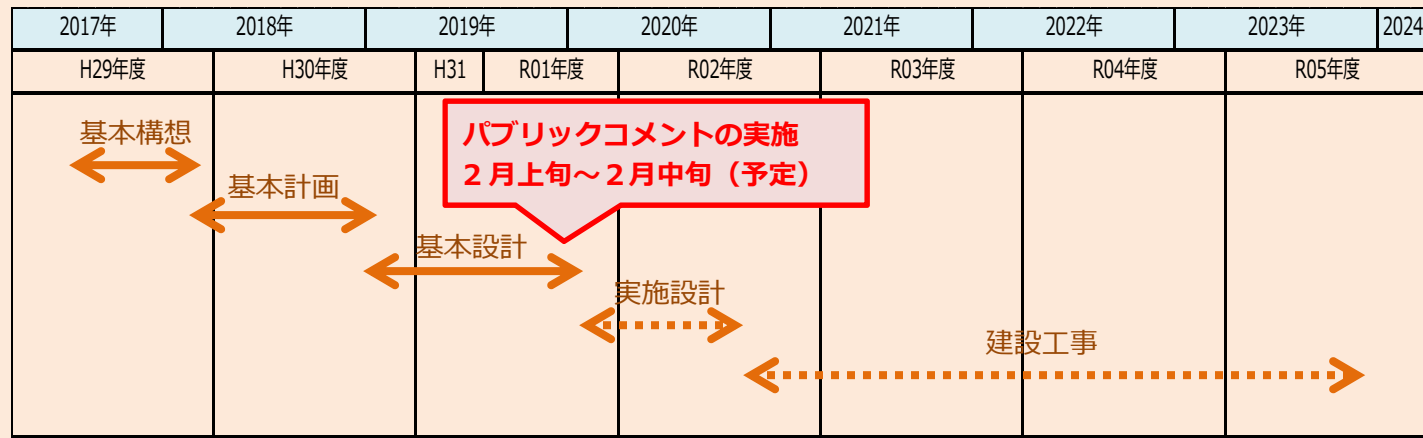


## ● 複合施設整備事業スケジュール（予定）



## ● 基本設計者【藤本壮介氏】プロフィール

1971年北海道釧路市で生まれ、生後まもなく北見市へ。  
 小学2年生の時、お父様が東神楽町内に病院を開業することになり、東神楽町に移住。  
 小学、中学、高校時代を東神楽町で過ごし、旭川東高校から東京大学工学部に進み建築を学ぶ。大学卒業後は、2000年に藤本壮介建築設計事務所を設立。現在はフランスにも事務所を構え、世界的に活躍をされている。



### <代表的な作品>

・情緒障害児短期治療施設 生活棟（北海道）



・せとの森住宅（広島県）



・武蔵野美術大学美術館・図書館（東京都）



・（仮称）石巻市複合文化施設（宮城県石巻市）



# 複合施設の整備に関する講演会



令和2年（2020年）2月13日（木）

時間 11:25~12:10 会場 東聖小学校

町では、古くなった総合福祉会館、診療所、役場の一部などを1つにまとめて、複合施設として整備する計画を進めています。

現在、東神楽町出身で世界的に活躍している建築家の藤本壮介さんに建物の基本となる形などを考える仕事をお願いし、事業を進めているところです。

今回は、現在進めている基本設計業務の概要について、ご講演してもらいます。

## ● 講演会スケジュール

1. はじめに（5分）
2. 複合施設の整備に関する講演（30分）  
株式会社藤本壮介建築設計事務所  
藤本 壮介氏
3. 児童・生徒からの質問・意見・感想など（10~15分）

1: 東神楽町のシンボル(顔)となる施設

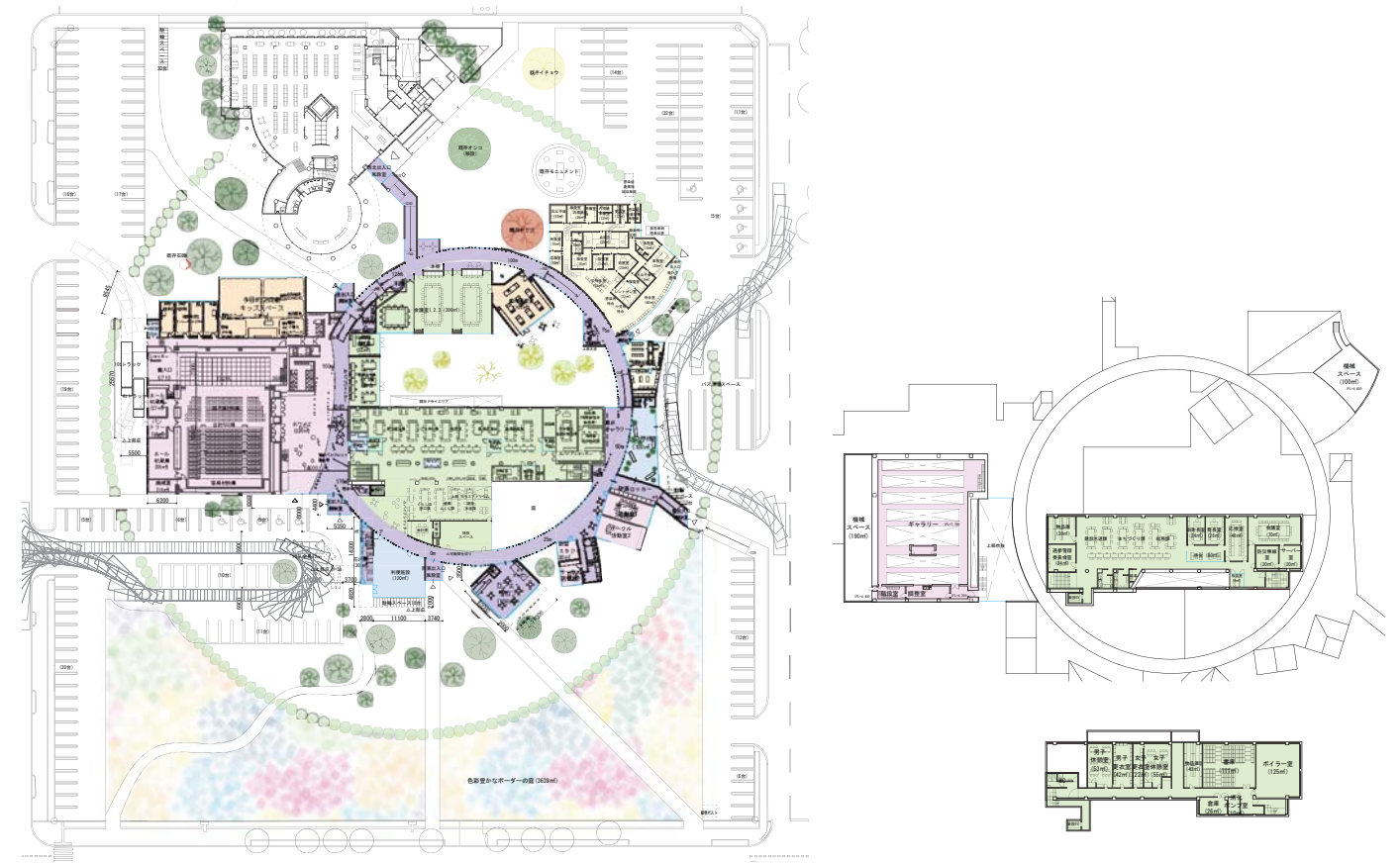
- 1-1: 統一感のある複合施設
- 1-2: 東神楽町のシンボルとしての風景
- 1-3: 柔軟性と拡張性のある施設

2: 複合化による、にぎわい・交流の相乗効果の実現

- 2-1: 気軽に立ち寄り、通り抜けることができる施設
- 2-2: 町民の居場所となる施設
- 2-3: 健康促進と、知的好奇心を刺激する場所
- 2-4: 町民が参加できる施設
- 2-5: 様々な表情を持つ庭

3: 環境に配慮し、防災拠点として安全性の高い施設

- 3-1: 行政窓口 執務機能 防災拠点機能
- 3-2: 多様な利用ができる文化ホール
- 3-3: 安全と使いやすさに配慮した施設
- 3-4: 地元貢献、環境共生、施設管理、構造種別の考え方



ホワイエ内観



ホール内観



執務スペース内観



回廊内観